

# 議会だより



“110番の日”の1月10日、鹿部駐在所の竹本恵一所長が啓発用の雪だるまを制作しました。

竹本所長は14体の雪だるまを手作り。赤い絵の具で「1月10日は110番の日です」とデザインし、歩行者やドライバーに110番の適切な利用を呼び掛けました。

## 第92号の掲載内容

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| ○第4回定例会の概要……………2P～4P | ○質問の追跡調査……………4P       |
| ○一般質問……………5P         | ○議員全員協議会の概要……………6P    |
| ○行政視察受入……………6P       | ○議員研修会……………6P         |
| ○委員会の活動……………7P       | ○会議の出席状況・議会の行事……………8P |

発行／鹿部町議会 編集／議会運営委員会 委員長 吉 英樹 副委員長 川村 裕司  
委員 船橋 敦子 委員 高橋 茂夫

〒041-1498 北海道茅部郡鹿部町字鹿部 252-1  
TEL 01372-7-5296 (直通) FAX 01372-7-3086

# ～令和4年第4回定例会～

令和4年第4回定例会は、12月8日に招集され、会期を12月9日までの2日間と決め、1人の議員が一般質問を行いました。

また、今期定例会では、承認1件、条例6件、補正予算5件、その他議案1件の審議を行い、いずれも原案のとおり可決し、会期を1日残して閉会しました。

なお、審議された議案等の主な内容は、次のとおりです。

## 承認

◆令和4年度鹿部町一般会計補正予算専決処分報告の承認について

令和4年10月18日付で専決処分したもので、歳入歳出それぞれ8692万5千円を追加し、予算総額を42億2617万9千円としました。

## 物価



主な内容は、国の新型コロナウイルス感染症緊急対策にかかる「しかべ応援券追加配布事業」ほか、国が実施した「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援事業」を追加したものです。

## 条例

◆鹿部町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定につ

いて

◆鹿部町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

人事院勧告に基づき、一般職の給料表を0.23%引き上げ、勤勉手当の支給率を100分の5引き上げる改正と一般職の勤勉手当改正に伴い、特別職の期末手当も同様に100分の5引き上げるものです。

なお、人事院勧告の主な内容は、民間企業における初任給の動向等を踏まえ、20歳台半ばに重点を置き、初任の係長級の若手職員にも一定の改善が及ぶよう、30歳台半ばまでの職員が在職する給料表について改定するものです。

また、期末勤勉手当（ボーナス）についても民間の支給状況に見合うよう支給率が引き上げられました。

## 給与明細書



◆地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

◆職員の間年等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

地方公務員法の一部を改正する法律が令和5年4月1日に施行されることに伴い、地方公務員の定年が段階的に65歳まで引き上げられることから、本町においても定年の引き上げやその他諸制度を導入するため、本条例の制定と一部を改正したものです。

また、地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例では、11件の条例を一部改正(①～⑪)し、1件の条例を廃止(⑫)しています。

なお、改廃された条例は、次のとおりです。

- ①鹿部町職員定数条例
- ②公益的法人等への鹿部町職員の派遣等に関する条例
- ③鹿部町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例
- ④職員の分限に関する手続



及び効果に関する条例  
 ⑤ 職員の懲戒の手續及び効果に関する条例  
 ⑥ 鹿部町職員の勤務時間、休暇等に関する条例  
 ⑦ 鹿部町職員等の育児休業等に関する条例  
 ⑧ 鹿部町職員の給与に関する条例  
 ⑨ 鹿部町職員に対する寒冷手当支給条例  
 ⑩ 職員の旅費に関する条例  
 ⑪ 企業職員の給与の種類及び基準に関する条例  
 ⑫ 鹿部町職員の再任用に関する条例

### ●質疑

65歳定年となりますが、その65歳の後、3年を超えることができないとあるため、町長の承認があれば最長68歳まで定年を延長できるのか。

### ●総務・防災課長

現行条例では、特例規定として、63歳まで延長が可能とされています。

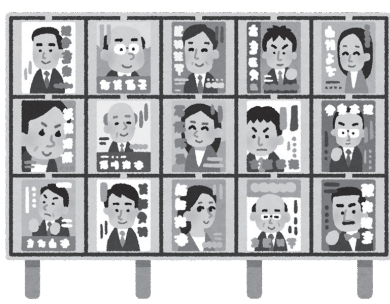
この特例規定が改正後の条例にも引き継がれますので、68歳まで延長が可能ということになります。

なお、当該特例規定を適用しました事例は過去はありません。

基本的に定年年齢は65歳ということでご理解いただければと思います。

### ◆鹿部町議会議員及び鹿部町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について

公職選挙法施行令の一部を改正する政令の施行に伴い、近年の物価の変動等に鑑み、選挙運動用自動車の使用、選挙運動用ビラの作成等の公営に要する経費にかかる限度額について、国に準じ限度額を引き上げるため、本条例の一部を改正したものです。



### ◆鹿部町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の制定について

過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に基づき策定した計画の産業振興促進区域において、製造業、旅館業、農林水産業等販売業及び情報サービス業の用に供する一定規模以上の設備を取得等した場合、その設備にかかる固定資産税を免除するため、本条例を制定したものです。



### 補正予算

### ◆令和4年度鹿部町一般会計補正予算について

歳入歳出それぞれ346万6千円を追加し、予算総額を42億6084万5千円としました。

主な内容は、電気料金の高騰による役場庁舎ほか公共施設等の電気料金の追加と人事院勧告による人件費を追加したものです。

### ●質疑

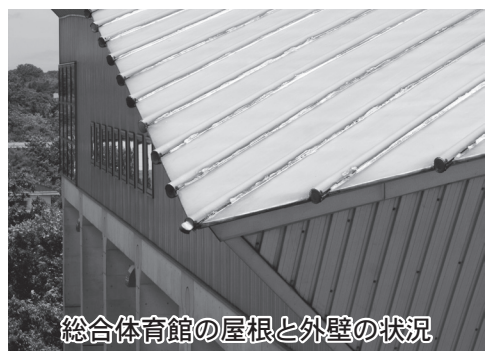
大手企業によつては、電力会社からの支援金があると聞くがどうか。

### ●総務・防災課長

電力会社から町等への支援については、今のところ情報はありません。

### ●質疑

総合体育館の改修工事実施設計の委託料追加の主な内容は。



総合体育館の屋根と外壁の状況

### ●社会教育スポーツ課長

当初の実施設設計として、アリーナ屋根、防水改修、外壁改修を予定していまし

たが、その後、利用者アンケート調査などによりガラス修繕、正面玄関自動ドア化、体育館前のインターロッキング改修、噴水改修、その他内部改修として、床改修やベンチ改修、老朽管の更新などが新たに追加されたことに伴い、今回実施設計の変更をしています。



総合体育館の外構の状況

### ●質疑

債務（地方債）と基金（預貯金等）はセットだと思いが、債務や基金の状況は決算時に提出されますが、予算説明の際、債務のみであり債務や基金の変化をセットで説明するのは難しいのか。

### ●総務・防災課長

予算書は、地方自治法施

# 定例 会・質問の追跡調査

行規則により示されたものにより作成しています。  
これと別に基金の資料を配付するかどうかについて内部で協議をさせていただきたいと思います。

## ●質疑

**ふるさと納税包括業務委託**について、契約期間を1年から4年延ばし5年契約にする利点を主に述べたと思うが、これは町側からの提案で4年延長するのか、それとも事業者側から依頼があつてのことなのか。

## ●水産経済課長

事業者側からの要望ではありません。  
事務的に今後その投資等を考えた際、フルにその財源を活用できる体制を考慮して必要とされる事務を前もつてできる限りの部分を準備するという考えで、町の方から勧めているものです。

## ●質疑

本当にそれだけの理由と  
いうことで、理解してよろ  
しいのか。

## ●水産経済課長

事業を進めていくうえで  
変化は伴うものだと思います  
が、少なからず指定管理  
等入っている業者が今後そ

の利益を再投資しながらさ  
らに利益を上げ、魅力のあ  
る施設づくりに投資してい  
くという部分での資金の活  
用の妨げにならないよう  
に、今回このような債務負  
担行為による長期契約をと  
考えています。  
今後の進め方によって、  
必ずしも次にそれ以外の展  
開が発生しないとは断言で  
きないものです。

◆令和4年度鹿部町国民健  
康保険事業勘定特別会計  
補正予算について  
歳入歳出それぞれ354  
9万円を追加し、予算総額  
を8億2942万8千円と  
しました。

主な内容は、決算剰余金  
の確定に伴う一般会計への  
繰出金、国民健康保険財政  
調整基金への積立金などを  
追加したものです。

◆令和4年度鹿部町介護保  
険事業特別会計補正予算  
について  
保険事業勘定分の歳入歳  
出それぞれ372万9千円  
を追加し、予算総額を4億  
5520万6千円としまし  
た。

内容は、特定入所者介護  
サービス費及び審査支払手  
数料の追加、地域包括支援  
センターシステムの更新委  
託料の追加、過年度分の介  
護給付費負担金及び介護給  
付費交付金の再確定手続に  
伴う返還金を追加したもの  
です。

◆令和4年度鹿部町後期高  
齢者医療特別会計補正予  
算について  
歳入歳出それぞれ21万8  
千円を減額し、予算総額を  
6559万2千円としまし  
た。

内容は、広域連合納付金  
の額の確定などに伴い、減  
額をしたものです。

◆令和4年度鹿部町簡易水  
道事業会計補正予算につ  
いて  
収益的支出に9万2千円  
を追加し、収益的支出の総  
額を8732万5千円とし  
ました。

内容は、一般会計同様に  
人事院勧告による手当等を  
追加したものです。

## そ の 他

◆和解及び損害賠償の額の  
決定について  
内容は、公営住宅地児童  
遊園内の草刈り作業の際、  
隣接する駐車スペースに駐  
車中の車両の右側後部座席  
窓を飛び石により破損させ  
たことから相手方と交渉  
し、修理に必要な費用を賠  
償することで合意を得たも  
のです。  
【賠償金額】  
10万9461円

## ●質疑

草刈り作業に対する講習  
会があるのかないのか、あ  
る場合、受講させているも  
のなのか。

## ●建設水道課長

草刈り機取扱作業者安全  
衛生教育という講習会があ  
りますが、これは法的な作  
業資格ではありません。

なお、この講習会の対象  
者は、草刈り作業を請け負  
う会社の従業員であります  
が、安全教育の一環として、  
受講できるかどうか進めて  
行きたいと考えています。

## 質問の追跡調査

●緊急避難道路の確保  
について  
(令和4年第3回定例会)  
高橋 茂夫議員

## 質問・答弁・取組状況

### 質問

大和ハウス工業(株)と協議  
のうえ、国道などへの接続  
箇所を増やし、住民の不安  
を解消すべきであると思  
いますが。

### 答弁

住民皆様の不安を解消す  
べく、効果的かつ実施可能  
な方法を探って参りたいと  
考えています。

### 取組状況

○令和4年11月現在  
10月13日と11月22日に、  
大和ハウス工業(株)と情報共  
有と課題の整理を行い、今  
後の対応について協議した。





高橋 茂夫 議員

国民健康保険税等の負担軽減について

あらゆる物価が高騰し、また各種税等の負担が増加している昨今ですが、各種税等の負担について、鹿部町は渡島管内の平均額に差があるように思われます。

そこで、国民健康保険税、介護保険料及び後期高齢者医療保険料について、地域事情もあるとは思いますが、渡島管内の実態を把握し、関係部署とが連携・協力し、各種税等の負担軽減への努力をすべきと思えます。



健全な運営管理に努めて行くのは当然ですが、改めて町の考え方について伺いたいします。

■質問と答弁の要約

Q. 1 国民健康保険税について。



A. 1

令和2年度に負担軽減すべく税率改正を行っておりますが、平均調定額は前年度所得等により変動しますので、一概に税率改正のみで軽減されたとは言いきれません。令和3年度では令和2年度に比べ、一人当

たりの平均調定額は4870円減額となっております。

Q. 2 後期高齢者医療保険料について。

A. 2

保険料は、後期高齢者医療広域連合において道内統一の保険料率となっており

ますので、町独自に保険料率を設定することはできませんが、医療費の削減が将来の負担軽減につながるものでありますので、高齢者の健康寿命延伸を図るため、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施計画を策定しておりますので、今後も関係課で連携・協力し、高齢者の健康増進を図って参ります。

Q. 3

介護保険料について。

A. 3

令和3年度から令和5年度までの第8期介護保険料額の基準額は5500円

で、渡島管内11市町のうち3番目に低い保険料となっております。管内の介護保険料基準額の平均は5900円となっております。

また、高齢化の進展に伴い、介護認定を受ける方も

年々増加しており、それに伴い、介護給付費の増加は避けられませんが、適正給付に努めるとともに、介護が必要な状態とならないよう介護予防事業を効果的に実施して参ります。



Q. 4

国保財政調整基金の積立の考え方と用途について。

A. 4

令和3年度末の基金残高は1億円で、この1億円の根拠として、現在の国保連

合会への納付金が、例年と

比べコロナ禍の影響により少額になっていきます。

平常時に戻った際に納付金を賄えるだけの金額を保有したいという考えです。

なお、過去の納付金と比較して2千万円ほど低く推移し、更には令和6年度に計算方法が変更される予定であるため、納付金が増えた場合、3、4年は基金で対応できるようにと1億円を目標にしてきたところで

Q. 5

渡島管内や道内の状況を常に把握し、そして情報を発信し、少しでも安くなるように、これからも努力してほしいと思えますが。



A. 5

きつちりとした状況の把握、そして情報発信の方も含めて、対応していきたいと思っております。

議員全員協議会

■令和4年第7回議員全員協議会

○開催年月日  
令和4年10月18日

○議題

鹿部漁港取排水施設貯留槽について

当該施設の異臭に関する対策と今後の施設改良の手續きについて説明を受けました。

■令和4年第8回議員全員協議会

○開催年月日  
令和4年12月27日

○議題

(1) 子育て負担ゼロへの挑戦について

子育て支援サービスの充実などの事業内容や実施スケジュール、収支計画などについて説明を受けました。

(2) 鹿部町道路整備計画(案)について

道路整備に関する進め方や優先順位の考え方、事業計画スケジュールなどの説明を受けました。

行政視察受入

昨年11月7日、森町総務経済常任委員会(所属外同行議員などを含め13名)による行政視察を受入しました。



当日は、町政の拠点であると同時に、防災拠点と位置付けられる役場庁舎における災害対策や特徴的な機能などについて説明をし、庁舎内を視察していただきました。

また、質疑応答の際には、たくさんの方の質問などを賜り本町の災害対策などに多くの関心を寄せていただきました。

議員研修会

昨年10月18日、渡島・檜山町村議会議長会主催の議員研修会に参加しました。

コロナ禍により3年ぶりに開催された今回は、北海道建設業協会副会長の栗田悟氏、防災・危機管理アドバイザーの細川雅彦氏が講師に招き、「第2青函トンネル構想について」、「防災・危機管理について」と題して講演をいただきました。

また、翌日の19日に鹿部町議会議員研修会を函館水産試験場で実施し、「渡島東部海況及び水産資源(すけそう・昆布・ぼたて)の動向について」の研修を行いました。



議会を傍聴してみませんか

～次回定例会は3月上旬に開催予定～

傍聴の手続きは、傍聴席の入口設置の傍聴人受付票に、住所・氏名などを記入するだけです。傍聴の皆様にも新型コロナウイルス感染症拡大防止のご協力とご理解をお願いしています。





# 総務経済常任委員会 民生文教常任委員会 合同所管事務調査

◇調査年月日

令和4年10月27日

◇調査事項

鉱害対策事業（旧雨鱒川  
鉱山等）の現況について

◇調査方法

担当課より関係資料に基づき説明を受け、現地視察調査を実施した。

◇調査の結果

○鉱山の概要

明治28年に雨鱒川上流の山中で焚火をして、石塊が燃えたことから硫黄があることが発見され、採掘の許可を得て翌29年に函館市の個人の占有となり、山腹に鉱床の掘削に着手、後に規模が拡大され山本鉱山と呼ばれるようになった。

明治41年に渡島鉱業株に経営が移り鹿部鉱山と改められ、戦時中の昭和18年に七飯町の精進川鉱山を運営する日本硫鉄株が買収をし、鉱山名も雨鱒川鉱山と

改称され、戦後も精進川鉱山とともに経営が続いたが、経営破綻により昭和33年12月に閉山となった。



掘削当時の雨鱒川鉱山 ～町史より引用～

雨鱒川鉱山

なお、明治時代の鹿部鉱山の頃は、150人余りの家族が住み、鉱山主の協力で校舎が新築され明治36年に雨鱒川教育所が開校し、昭和30年中学校が小学校に併置され開校したが、鉱山の閉山により、学校も昭和36年度に廃校となった。

○鉱害の概要

雨鱒川、精進川両鉱山の抗廃水は、何ら対策をしなかったため、東大沼の水田

に影響を及ぼし、昭和47年に精進川に沈殿していた水酸化鉄が大量に折戸川に流出し、本町の沿岸を汚染、昆布等の生産高が半減する被害が発生した。

また、雨鱒川杭及び精進川杭から酸性水が流出したため、昭和40年代から水質悪化により下流の折戸川も水質が悪化した。

○鉱害対策の状況

昭和46年度から水質改善を目的とした調査等、鉱害防止対策事業が着手され、現在まで各種工事や調査が進められているが、国の基準は満たしているものの依然として抗廃水が折戸川に流出している。



中切杭より流出する抗廃水

なお、平成10年度休廃止

鉱山鉱害防止対策委員会において、「公共用水域水質測定地点（折戸川A点）において砒素等の重金属類の環境基準の達成を目標とする」との精進川鉱山における鉱害防止対策の基本方針が決定され、この方針を踏まえ、調査等を継続実施している。



堆積場（右側）からの流出を防ぐ擁壁（護岸）

本町では、これらの状況を踏まえ、鉱害対策事業の促進について、毎年、渡島総合開発期成会の主要要望事項として国や北海道に対し要望をしている。

◇調査意見等

この度の現地調査などにおいて、北海道休廃止鉱山鉱害防止対策会議の構成メンバーに同行をいただき、

国や北海道の取り組みに関し、学術的見地等を踏まえ、現況等の理解を深めることができた。



北海道休廃止鉱山鉱害防止対策会議  
構成メンバーとの意見交換等を実施

また、昭和46年度に山腹水路・法止め擁壁及び導水工事が行われ、以降、様々な工事や調査などが実施されている。

このことから当該鉱害防止対策の基本方針による水質調査等の継続調査はもちろんのこと、引き続き自然の地形や地質的現象を活用した水質改善方法の可能性について調査検討を進め、更なる対策工事が講じられるよう、国や北海道に対し要望されることを強く望むものである。

## 令和4年10月～令和5年1月 本会議、各委員会等の出席状況

(○は出席、×は欠席(病欠含む)、△は遅刻・早退、－は該当なし)

会 議	佐藤 頼幸	千葉 光義	三谷 百十樹	川村 裕司	吉 英樹	中川 一	船橋 敦子	高橋 茂夫	浦 梅吉
第7回議員全員協議会(10/18)	×	○	○	○	○	○	○	○	○
総務経済・民生文教常任委員会合同所管事務調査(10/27)	×	○	○	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会(12/5)	－	－	－	○	○	○	○	○	－
令和4年第4回定例会(12/8)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
総務経済常任委員会(12/8)	－	○	－	－	○	○	○	－	○
民生文教常任委員会(12/8)	○	－	○	○	－	○	－	○	－
第8回議員全員協議会(12/27)	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議会運営委員会(議会だより編集1/19)	－	－	－	○	○	○	○	○	－

## 議会の行事

### 11月

- 4日 参議院議員船橋利実政経セミナー  
(議長)
- 7日 森町総務経済常任委員会行政視察受入  
(議長)
- 9日 町村議会議長全国大会  
(議長)
- 9日～11日  
南渡島消防事務組合議会行政視察  
(関係議員)
- 10日～11日 渡島町村議会議長会行政視察  
(議長)
- 29日 南渡島消防事務組合第3回議会定例会  
(関係議員)

### 12月

- 5日 議会運営委員会 (全委員及び議長)
- 8日 第4回定例会 (全議員)

- 8日 総務経済常任委員会 (全委員及び議長)
- 民生文教常任委員会 (全委員)
- 27日 第8回議員全員協議会 (全議員)

### 1月

- 2日 鹿部消防出初式 (全議員)
- 6日 北斗消防出初式 (関係議員及び議長)
- 7日 七飯消防出初式 (関係議員及び議長)
- 19日 議会運営委員会 (全委員及び議長)
- 20日 渡島町村議会議長会定期総会 (議長)
- 31日 民生文教常任委員会所管事務調査  
(全委員)